

東日本ユニオン よこはま

JR 東日本労働組合
横浜地方本部
発行者/小清水和彦
編集者/教育・広報部

「新系列車両保全体制の見直しについて」

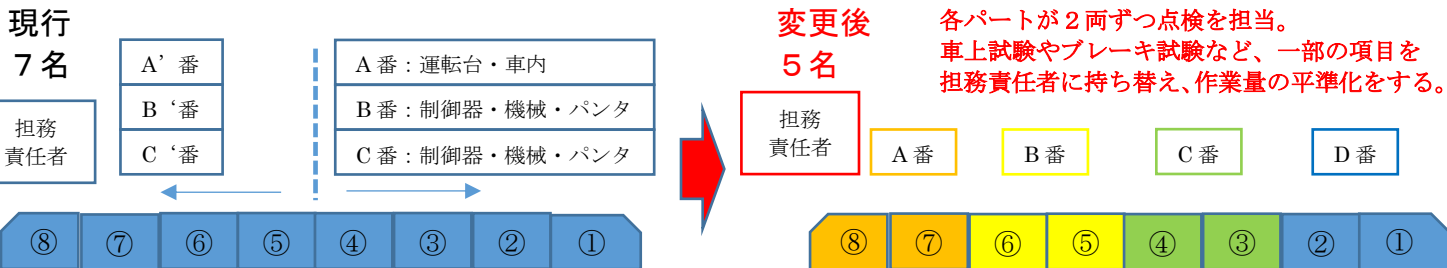
11月1日、会社より「新系列車両保全体制の見直しについて」の提案を受けました。

会社は、業務の抜本的変革を通じた多様な人材を育成するため、またさらなる生産性の向上を推し進め、変革2027で掲げる「社員の働きがいの向上」を図る必要があるとの考えから、新系列車両保全体制の見直しを実施する内容を明らかにしました。

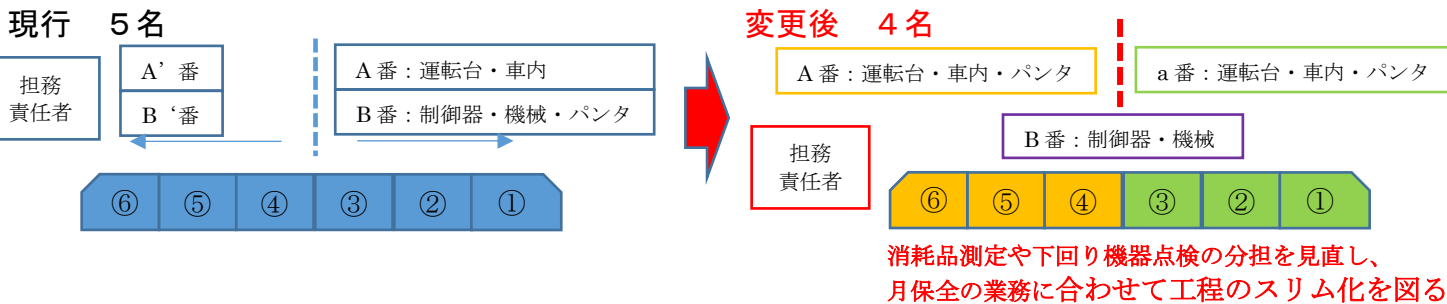
1. 実施箇所 鎌倉車両センター、鎌倉車両センターセンター中原支所
2. 実施内容 新系列車両保全体制を見直す。
3. 周知教育 必要な周知・教育は実施する。
4. 実施日 2022年1月1日

箇所名	現行の標準数（車両職）	変更後の標準数（車両職）	
鎌倉車両センター	82	81	△1

1. 鎌倉車両センター 横浜線E233系 機能保全（年・月）



2. 鎌倉車両センター 中原支所 南武線E233系 機能保全（月）※年保全は現行のまま



組合：機能保全に携わる人数が変わる。どのように教育していくのか。

会社：各職場において、プロジェクトチームを作り考えた内容で、何度も検討し承認した内容である。社員にも負担のない内容であり、2か月の間にしっかりと教育・OJTを行えば問題ないと考えている。

組合：効率化だけのように見えてしまうが。

会社：社員のスキルが上がり、機能保全の短縮ができることにより、臨時修繕や異常時対応に要員を回せるなど社員の視野を広げたいことや社員の知識の豊富化が今回の目的となる。

今提案を働く者の視点から、議論・検証していこう!!